

case

行政事務

総務部
財政課

(平成24年度採用)

わたしを表すキーワード

5

keyword 01 #育児休業

第1子誕生と同時に半年間の育児休業を取得しました。育児に参加できた経験はもちろんのこと、自らのキャリアをじっくりと見つめ直す有意義な期間を過ごしました。

keyword 02 #バンコク福島桃の会派遣研修でタイのバンコクに2年間駐在しました。現地福島県人会の事務局として活動し、東北の風物詩「芋煮会」をチャオプラヤ川の船上で開催しました。

keyword 03 #組織を支える
keyword 04 #制度と格闘

keyword 05 #サワディーカップ



略歴

H24～H26 相馬港湾建設事務所 総務課
 H27～H29 (独)日本貿易振興機構(ジェトロ)派遣研修生
 H30～R3 商工労働部 医療関連産業集積推進室
 R4～現在 総務部 財政課

県民の安らかな暮らしを実現するために

財政課では、県の原子力損害賠償請求や所管する予算・財務会計制度の運用、財政状況の公表などを担当しています。総務部は組織を支える言わば裏方ではありますが、学生時代に学んだ法律の知識などが目の前の仕事に大いに役に立っています。聞き慣れない用語や制度と格闘する毎日ですが、業務を通じて自らの行政マンとしての幅が広がっていると実感しています。

県職員を目指した理由

出願の直前に東日本大震災が発生し、まだまだ混乱が続く中での受験・入庁でした。志望した年にこうした困難が起きたことも1つの縁だと考え、自分の生まれた地域が抱える課題に真正面から向き合える県職員という仕事を選びました。



↑関係課と規則改正作業の打合せ

とある一日のスケジュール

8:30	メールチェック スケジュール確認	13:00	公用車で移動
9:00	資料作成	13:30	法律事務所で弁護士と打合せ
10:30	関係課と打合せ	15:00	帰庁、上司へ結果報告 報告書作成
11:30	問い合わせ対応	17:00	翌日のTODOリスト整理
12:00	昼休み	17:15	終業
		18:15	帰宅して子どもを お風呂に入れる

印象に残っている経験・エピソード

初めての異動で国内外に拠点を持つ政府機関への派遣研修の機会をいただきました。海外駐在2年間を含む3年間の研修では、日本企業の海外進出支援業務に取り組み、数多くの商談支援や海外展示会出展をサポートしました。海外の政府や企業を相手にした厳しい交渉経験は、県職員に復帰してからも、相手を説得したり対話を通してよりよい結論を導いたりすることが求められる業務に大いに役立っています。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



↑バンコク福島桃の会

採用後すぐに参加した職員研修で、当時の副知事が「県民の皆様の安らかな暮らしを取り戻すことが私たちの使命」と講話されていたことを鮮明に覚えています。現在の業務は組織を支える屋台骨としての役割ですが、震災から10年以上が経過した今もその使命を胸に、日々の小さな仕事の先につながる福島の安らかな未来を想像しながら取り組んでいます。

(令和5年3月現在)